

奈良県指定文化財調査票

調査日	2021 年	2 月	4 日	記入者	石井 宏子
調査者名	石井	中西	橋詰		

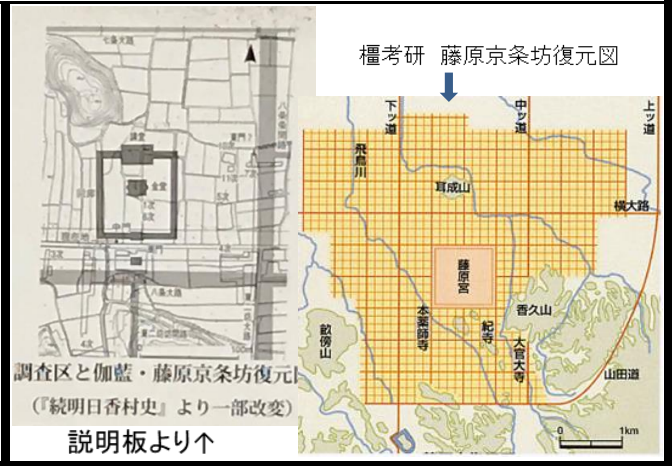
文化財名	紀寺跡				
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ()
指定年月日	1993年(平成5)3月5日				
所在地	高市郡明日香村小山				
所有者 管理者	奈良県(個人)				
員数					
時代区分					
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)	
案内板の状況	奈良県教育委員会の説明板がある。				
公開	見学自由				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input type="checkbox"/> 良い	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足 ()				
当面の課題	飛鳥川の右岸、天香久山の西、藤原京では左京八条二坊に当たる位置、現在の県営飛鳥庭球場に隣接した草原地に説明板がある。説明板は、調査区の地図や伽藍跡の写真・特徴的な出土品の写真も入れ、詳しく分かりやすく説明されており、やや印字が薄れているが問題はない。				
今後の課題	県史跡があることが分かりにくいので、案内板を設けたり、説明板の位置などに工夫が必要と思う。				
その他 (由緒など)	建物跡の確認時、「キデラ」という字名から、『続日本紀』の天平宝字期の紀寺奴婢の争いの経緯の記述から天智期には造立されていたことが分かる「紀寺跡」と考えられたが、近年、紀寺式瓦の伝播の状態や、「本薬師寺」との位置関係、伽藍配置の推定、幢竿支柱跡の出土、或いは藤原京の条坊との関係などから、疑問も持たれている。				
コメント	1973年、第一次調査で、伽藍中枢の発掘調査はほぼ終了したが、2006年まで11次にわたる調査が行われた。指定年月日が1993年であることを不思議に思い、明日香村に問い合わせたところ、保護すべき範囲の確定に時間を要したとのことだった。この間、瓦や伽藍の調査等から広範な研究がなされていることを思うと、今は何も無い？草原のがらんとした場所に見える古寺跡に立派な伽藍があり、多くの謎があることを感じた。古代寺院の建立・移転や移設などの研究がなお一層進むことを期待したい。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2021 年	2 月	4 日	記入者	石井 宏子
調査者名	石井	中西	橋詰		

文化財名	紀寺跡
------	-----

説明板	藤原京での位置
-----	---------



史跡の現状(南より)

史跡の現状(南西より)



伽藍配置推定略図

出土した埴仏の複製(飛鳥資料館蔵)と出土瓦(奈文研藤原京跡資料室蔵)

